

早良区少年愛護パトロール員だより

～安全・安心の地域をつくるために、パトロールでの優しい声かけをお願いします～

令和4年12月19日 /編集・発行

早良区総務部地域支援課振興係

早良区少年愛護パトロール員第2回研修会

令和4年11月29日(火)、早良市民センターにて少年愛護パトロール員第2回研修会を開催しました。

今回の研修会は、少年愛護パトロール員(以下、「愛パト員」と表記します。)の皆さま方にご協力いただいた6月のアンケート結果をもとに、開催時間や内容の参考にさせていただきました。

アンケートで多数だった「他の校区の活動内容や愛パト員の意見を聞きたい」というご要望に合わせて、2～4校区、4～5名でグループを作り自由に話し合い、最後にグループ内で話した内容を発表していただきました。約30分間の話し合いでしたが、どのグループも活発な話し合いが行われ、少し時間が短かったかなとも感じました。また、発表の中で長年愛パト員をされている方から「子どもへ声をかける際には、問題行動の現象だけでなく、子どもの置かれている家庭環境や子どもの心情にも思いをはせて、子どもの立場に立った子ども目線での声掛けが大切です。」というお話に多くの方が共感されていたようでした。

参加された23名の方に書いていただいたアンケートでは、今回の研修会が有意義だった等のご意見が多くみられました。下記に掲載していますので、今回の研修会に参加できなかった方も是非ご覧いただき、今後の青少年健全育成の参考にさせていただければと思います。



〈アンケート結果〉

① 少年愛護パトロール員の活動を通しての感想やご意見等をお願いします。

- ・校区によってパトロール参加者の人数が大きく違うことを初めて知りました。私たちの校区は毎回20～30人の体制で回っていますが、1人でパトロールしている校区もあるとのこと驚きました。複数人で活動する体制が整えばいいなと思いました。
- ・校区によって活動が異なり、中学校区、町内、個人それぞれが工夫して活動している話が聞けた。
地域ぐるみで見守りできる体制だと、愛パト員も活動しやすいと思った。1人でパトロールすると危ないし、あやしい場面もあるため注意も必要だと思った。
- ・愛パト員になり、夜間の外出時など周囲に危険な場所がないか気になるようになりました。
- ・とても平和だなと感じました。特にトラブルやたむろ、違反行為を見かけることがないです。
- ・愛パト員研修や、パトロールでの問題点もわかり、安全な街になっていると思います。
- ・「子ども目線での声掛け」とても心に残りました。1人でパトロールするので声掛けに対して不安がとてもありました。
- ・他校区の報告内容を見て、現状がわかりました。
- ・今、町内の青少年育成部はおためしで犯罪予測システム「CRIME NABI」を使用しています。とても便利だと思いました。
- ・「子ども目線に立って…」 すごく心に響きました。今後気を付けていきたいと思っています。
- ・狭い校区なので問題がほとんどありませんが、子どもたちの良い点も報告していきたいと思いました。

・コロナ禍で子どもたちも外に出る時間も短く、そこまで気になるようなことはなかったです。これからもできる範囲で見守り活動していきます。

・各地域活動の工夫など聞いて良かった。子どもたちへの声掛けの方法など勉強になりました。「子ども目線」もっと考えないといけないなど反省です。あたたかい気持ちでパトロールに臨みたいです。

・パトロールだけでなく、地域全体で子どもの見守りをしていくことが大切です。そういった意味でも自分たちがいろいろな機会を通し(例えば老人会の中など)意識付けをしていきたいと思っています。

・他校区との意見交換ができてよかった。

・日頃、朝から仕事、夕方に即帰宅なので、あまり見守り活動できていないが地域の様子を見ている限りでは特別な問題は無いように思える。

・地域によってパトロールの仕方が違うことが分かった。他の校区との意見交換は大切だと思った。

・地域のことをよく見るようになりました。

・今回、地域委員になるまで”街の危険”への意識が低かったように思います。今回を機に街の見方が変わり自分にとって良い機会になりました。

・日頃から見守ってくださっている地域の方々にあらためて感謝したいと思いました。ある校区ではたくさんの大人が地域と子供たちのことを考えてくださり時間をとってくださっていることがわかりました。

・愛パト員の活動がこんなにも早良区の子どもたちを見守ってくださっていることにとても感謝しております。いろいろな家庭があって、いろいろな子どもがいて、いろいろな事情や背景があるんだなと思いました。子どもの声掛けを大切にしていきたいと思いました。

・ふだんから周りを見るようになった。パトロールを通して子どもの姿を目にするようになり、その姿に期待するようになった。

② 他校区の少年愛護パトロール員との意見交換を通して気づいたことなどがあればお願いします。

・皆さん責任感を持ってパトロールに取り組んでおられて感心しました。「子ども目線に立って声掛けをするとよい。」というお話がとても参考になりました。

・地域によって体制や環境も異なることが知れた。子どもの気持ちになって声掛けすることが大事であることや家庭環境のことも考えて声掛けに気を付けていきたい。

・パトロール中の子ども達への声のかけ方など工夫して気を付けながら行っていく。子ども目線での声掛けが大切。

・他校区は地域密着型。パトロールも月3回と協力体制も整っていると感じました。

・他校区の活動状況はパトロール回数も違い、環境も違い大変勉強になりました。

・いろいろな校区でのパトロールの方法があるとのことで、とても参考になりました。

・「家庭環境をも考えた、子ども目線での声掛けが大切だ。」との話がとても参考になりました。

・他校区の方と意見交換ができて、パトロールのやり方や危険なところなど情報共有ができて勉強になりました。また、声掛けのやり方なども聞いて良かったです。

・各校区でのやり方が違うことにびっくりしたとともに、とても参考になりました。ありがとうございました。

・下校時刻に音楽や放送がある校区もあると聞き、校区ごとに安全が守られていると感じました。

・たくさん参考になる意見を聞いて良かったです。子ども目線で、思いやりを持って行動します。

・それぞれいろいろな思いを持ち活動されていました。

・みなさん一生懸命に活動されている様子が聞けた。

- ・愛パト員の方の考え方がそれぞれで、とても勉強になった。
- ・言葉がけ。声掛けの子ども視線の大切さ。自分が思っていた以上に、子どもへの寄り添いが大切だと思いました。
- ・子ども視線の声掛けが大切だとわかりました。
- ・見守りの時の声掛けや子供に対する声掛けの極意を教えてくださいました。
- ・子どもが平気でうそをつくことへの理解(子どもの置かれた環境や精神状態の把握)が必要だと感じました。
- ・各校区によって取り組みも様々だと思いました。どこも子どもたちの安全を考えられていて、その思いが子供たちに伝わるとよいと思います。
- ・いろいろな形でパトロール活動している校区があることを知りました。ベテランのパトロール活動をされている方のお話(声掛けのやり方)とても参考になりました。
- ・コロナでなかなか人と触れ合うことがなかったので、今日の意見交換の機会はとてもうれしかったです。同じ早良区でも治安の違いを感じました。
- ・地域との協力やイベントでのパトロール。また、子ども視線での声掛けが大切。

③ これからの少年愛護パトロール員活動に対するご意見等があればお願いします。

- ・いつも有意義な研修会を開催していただきありがとうございます。パトロール活動が地域の安心安全に大きく貢献していると感じました。これからも、この活動をずっと続けていきたいと思いました。
- ・声掛けの仕方など、研修会があるとよいと思った。
- ・今後も愛パト員の活動を継続して青少年を見守ってほしいです。
- ・小学生高学年、中学生、高校生への声掛け方法が課題。
- ・現在の社会は SNS や LINE を使ったつながりが子供の中にも増えており、その中での危険事案や少年愛護の観点から気を付けることがあるのではないかと思います。
- ・他校区との意見交換、とてもよかったです。
- ・声掛けの仕方、子どもの気持ち(子どもの事情)を考えた声掛けの方法(声掛けの気持ちの伝え方)を教えてください。
- ・子ども視線の声掛け、心がけたいと思います。
- ・意見交換とても良いと思います。経験豊富な方の言葉はとても勉強になります。もっとお話が聞きたかったです。
- ・愛パト員同士の意見交換は大切だと思います。
- ・地域のパトロールは個別よりも複数のほうがやりやすいのかなと感じる一方、日時を合わせる大変さもあるところが難しい点。
- ・グループ形式での話し合いは他校区のことがよくわかり、今後も続けてほしいです。
- ・報告書の提出がもっと気軽にできるようになると「異常なし」の報告もしやすいです。例えば「異常なし」は LINE などですぐにできるとういことです。
- ・愛パト員経験が豊富な方のお話が心に響きました。いろいろな学校でお話ししていただきたいです。
- ・やさしい気持ちで接していくこと、子ども視線ということを考えさせられました。
- ・現状維持がいいです。
- ・取り締まりではなく、見守りの気持ちで行ってほしい。「ダメ」ばかりではなく、少し余裕のある見方ができたらよいかなとも思う。